

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年8月9日

**【四半期会計期間】** 第44期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** シノブフーズ株式会社

**【英訳名】** SHINOBU FOODS PRODUCTS CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 松本崇志

**【本店の所在の場所】** 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

**【電話番号】** 06(6477)0113(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役業務企画本部長 上田往紀

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

**【電話番号】** 06(6477)0113(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役業務企画本部長 上田往紀

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第1四半期 連結累計期間	第44期 第1四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	9,674,708	9,390,742	39,021,767
経常利益 (千円)	371,153	173,641	1,056,172
四半期(当期)純利益 (千円)	216,622	103,616	514,064
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	214,356	105,339	535,928
純資産額 (千円)	9,898,481	9,738,522	9,872,778
総資産額 (千円)	18,025,124	17,584,906	17,956,693
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	14.01	7.17	33.84
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	54.9	55.4	55.0

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社および子会社2社(株式会社エス・エフ・ディーおよび巽パン株式会社 以下、当社グループという)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策への期待から株価の上昇や円高の是正が進むなど、持ち直しの動きが見え始めております。

米飯加工食品業界におきましては、エネルギーコストの増加に加え原材料価格の上昇など、引き続き厳しい環境となりました。

こうした状況下、当社グループは、お客様のニーズに添った商品開発に努めるとともに、新規取引先の開拓を進めました。また、モンドセレクション3年連続金賞受賞の「エピ・ムー ミックスサンド」のテレビコマーシャル放映もあり、調理パンは売上を伸ばしたものの、激しい競争のなか、売上高は前年同期を下回りました。

生産面では、ロス削減など徹底したコストダウンに取り組むとともに、安全・安心な製品をお届けするため、品質・衛生管理の充実をはかりました。一方、岡山工場の操業開始に伴う立ち上げ費用が嵩みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、93億9千万円(前年同四半期比2.9%減)となり、利益面におきましても、営業利益は1億6千5百万円(前年同四半期比53.2%減)、経常利益は1億7千3百万円(前年同四半期比53.2%減)、四半期純利益は1億3百万円(前年同四半期比52.2%減)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現金及び預金の減少を主因に前連結会計年度末と比較して3億7千1百万円減少し、175億8千4百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益1億3百万円を計上する一方で、配当金の支払7千2百万円、自己株式の取得1億6千6百万円等により前連結会計年度末と比較して1億3千4百万円減少し、97億3千8百万円となりました。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループの研究開発活動については、製品の多様化、ライフサイクルの短縮に対応するとともに、流通チャネルに適応した製品、鮮度への要求にも配慮した製品の開発に力をそそいでおります。

また、既存製品の改良・開発につきましては、ますます顕著になってくる消費者のライフスタイルの変化に適応する製品づくりを進めてまいります。

(5) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に計画中であった主要な設備の新設について完了したものは以下のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	設備の内容	投資額(千円)	完了
提出会社岡山工場	岡山県総社市	炊飯設備	164,250	平成25年5月

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,656,000
計	45,656,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可 金融商品取引業協会名	内容
普通株式	15,000,000	15,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	15,000,000	15,000,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年5月17日 (注)	970	15,000		4,693,422		1,173,993

(注) 自己株式の消却による減少であります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式 (自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,409,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,461,000	14,461	
単元未満株式	普通株式 100,964		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	15,970,964		
総株主の議決権		14,461	

(注) 「単元未満株式数」には、当社所有の自己株式795株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) シノプフーズ株式会社	大阪市西淀川区竹島 2丁目3番18号	1,409,000		1,409,000	8.82
計		1,409,000		1,409,000	8.82

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)にもとづいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)および第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)にかかる四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,550,374	1,332,727
売掛金	3,677,221	3,666,836
商品及び製品	22,541	22,454
原材料及び貯蔵品	203,227	190,748
その他	235,313	222,456
貸倒引当金	4,315	4,315
流動資産合計	5,684,362	5,430,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,392,266	3,320,741
土地	6,370,815	6,363,937
その他(純額)	1,501,581	1,466,840
有形固定資産合計	11,264,664	11,151,520
無形固定資産	100,186	96,958
投資その他の資産		
その他	940,790	938,845
貸倒引当金	33,309	33,325
投資その他の資産合計	907,480	905,520
固定資産合計	12,272,330	12,153,999
資産合計	17,956,693	17,584,906
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,582,048	2,638,418
短期借入金	866,156	1,339,621
未払金	2,141,986	1,714,149
未払法人税等	257,203	21,272
賞与引当金	239,580	112,265
その他	296,838	445,578
流動負債合計	6,383,814	6,271,304
固定負債		
長期借入金	1,341,985	1,216,143
退職給付引当金	292,850	293,967
その他	65,265	64,969
固定負債合計	1,700,101	1,575,079
負債合計	8,083,915	7,846,384



	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,693,422	4,693,422
資本剰余金	3,958,242	3,658,168
利益剰余金	1,615,659	1,646,469
自己株式	433,852	300,567
株主資本合計	9,833,471	9,697,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,997	36,741
その他の包括利益累計額合計	35,997	36,741
少数株主持分	3,309	4,288
純資産合計	9,872,778	9,738,522
負債純資産合計	17,956,693	17,584,906

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,674,708	9,390,742
売上原価	7,558,172	7,452,507
売上総利益	2,116,535	1,938,235
販売費及び一般管理費	1,762,463	1,772,442
営業利益	354,072	165,792
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	718	1,525
受取賃貸料	11,926	11,813
受取奨励金	6,600	-
その他	8,463	4,753
営業外収益合計	27,712	18,098
営業外費用		
支払利息	7,044	5,753
不動産賃貸原価	2,733	2,864
その他	852	1,632
営業外費用合計	10,631	10,250
経常利益	371,153	173,641
特別利益		
固定資産売却益	1,424	1,540
特別利益合計	1,424	1,540
特別損失		
固定資産除却損	1,412	5,338
特別損失合計	1,412	5,338
税金等調整前四半期純利益	371,165	169,843
法人税、住民税及び事業税	27,346	29,107
法人税等調整額	127,197	36,140
法人税等合計	154,543	65,247
少数株主損益調整前四半期純利益	216,622	104,595
少数株主利益	-	978
四半期純利益	216,622	103,616

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	216,622	104,595
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,266	744
その他の包括利益合計	2,266	744
四半期包括利益	214,356	105,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214,356	104,361
少数株主に係る四半期包括利益	-	978

【注記事項】

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
(食物残渣等売却収入の会計処理の変更) 工場で製品を製造した後に発生する食物残渣等(廃油、パン耳、ダンボール等)の販売収入については、営業外収益として処理しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、原則的方法である売上原価から控除する処理に変更しております。 この変更は、当該取引の金額的重要性が増したため、経営成績をより明瞭に表示するために行ったものであります。 当該会計処理の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。 この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上原価が3,669千円減少し、営業利益が同額増加しておりますが、経常利益および税金等調整前四半期純利益には影響ありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
(連結納税制度の適用) 当社および一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	170,739千円	183,048千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	69,889	4.50	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	72,805	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社グループの主たる事業は食品製造卸販売事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	14円01銭	7円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	216,622	103,616
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	216,622	103,616
普通株式の期中平均株式数(株)	15,464,798	14,446,960

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月7日

シノプフーズ株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川崎 洋文 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 千崎 育利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシノプフーズ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シノプフーズ株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。